

# 株式会社ジェイコム千葉(浦安局・八千代局・木更津局) 2012年度 放送番組審議会 議事録

2012年度 ジェイコム千葉(浦安局、八千代局、木更津局)の放送番組審議会は、2013年4月18日(木)に浦安局で開催された。

## <放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

大 木 均 様            佐 藤 淳 一 様            西 村 文 明 様  
三 宅 利 正 様            山 崎 茂 則 様            李 程 英 様

計 6 名

ご欠席

刈 込 詔 司 様 (委任状受領)

工 藤 渡 様 (委任状受領)

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

## 【質疑応答・意見交換】

### (加入者増加のための提案)

委員 時間を持て余す多くの高齢者向けに、気楽に出来る体操を番組に取り入れていただくことは出来ないか。地域の情報PRとともに、健康増進を目的とした関東近県のハイキング紹介なども検討いただきたい。アメリカでは、スマホへの加入拡大に伴い、CATV の解約が増えているとの報道がされている。

事業者 別の番組審議会からも同様のご要望が出されており、高齢者向けの健康増進番組、振込め詐欺防止の啓蒙映像化は検討したい。

### (高齢者向け番組の充実を)

委員 年を経ると、「きょう、よう(今日・用)がないと、生き甲斐がない」と言われる。体力的にも高齢者が外出しないかわりに、日々、家の中で用事として、見られる番組作りをお願い

したい。年配が視る番組内容は、若者の制作者にはなかなか分からないのでは。コミュニティチャンネルは、住んでいる地域のことも分かるし、高齢者の方が楽しみにしてもらえる番組作りということが使命なのかと思う。

#### (11ch、10ch の名称棲み分けが不明、見せる演出、クラウドサービス)

**委員** 11ch も HD 化となり、11ch と 10ch とのチャンネル名称の棲み分けが分からない。先ほど、視た DVD 映像の番組内での子供とのゲームコーナーでは、番組 MC が参加者と踏み込んで共演されていた。大人は常に真剣やるということが伝わるほうが、番組としても面白い。これからも、もっと尖った番組にして欲しい。

家庭内で皆が情報共有のためのハードウェアの時代が来る。J:COM がホームサーバーを加入者の家庭内に設置できるようにしてもいいのではないか。使い方としては、留守番電話サービス、振込め詐欺防止のための録音サービス等がホームサーバーでなされていれば、効果を上げると思う。スマホとの連携も可能である。3 サービス(TV・NET・電話)一体となった J:COM だからこそ出来るサービスを期待する。

**事業者** チャンネルの名称は、まさしく現在、社内で議論を重ねているところで、7 月に新しいチャンネル名としてスタートする予定である。ガイド誌等でもご案内する。

ローカル番組の演出は、これまであまり出来ていなかったが、見せる工夫にも力を入れ、制作者の質、番組の質向上を図っている。

#### (伝統と文化を意識した番組制作)

**委員** 日本全国どこでも住民にとっては、住んでいる地域こそが中心である。浦安、八千代、木更津どこも、そのエリアが中心であるという意識をもって、元気を出して制作して欲しい。

番組で関心があるのは、伝統と文化である。演出力とは、出演タレントが単に騒ぐのではなく、しっかりした準備にこそある。

年配者は歴史を好むので、そういった視点からも、伝承文化を掘り起こした番組制作、放送を希望する。地元が知らないネタを掘り起こす事を大事していただきたい。

**事業者** 放送中の関東全域番組『歴史百景』でも、このエリアの特集に取り組んでいく。日々、各エリアを情報収集しながら番組制作していく。

#### (緊急時の情報発信連携)

**委員** 緊急時の情報発信では、昨年 5 月の断水事故の際、J:COM チャンネルで緊急放送

等にて情報発信いただいたが、今後も市からも必要な情報を提供し、連携したい。

#### **(災害情報の発信)**

**委員** 災害情報の発信は、J:COMで視るのが、一番早いという体制は出来ないか。

**事業者** コミュニティチャンネルは、報道でなく、住民にとって必要な生活情報を発信している。例えば、震災時における各地域の停電情報などの提供に努めている。

#### **(生活情報収集のためのネットワーク作り)**

**委員** 生活情報の面では、災害時には避難場所情報など、普段から関係各所とのネットワーク作りが必要である。

#### **(広報無線に代用する役割)**

**委員** 広報無線はよく聞こえないという声もあり、その代りをJ:COMチャンネルが担って欲しい。人手の問題があるが、確実にこのチャンネルなら生活に密着した細かな情報が得られるという、信頼を売りにすることも重要である。

#### **(番組、局イベント・教室に好感)**

**委員** J:COM制作の地域番組、中高年向け女性イベント、スマートフォン教室開催などには、周りの人たちも満足している。番組編成では、中高年向けに洋画の新作が増えるといい。

#### **閉会**

予定時刻となったため、以上で放送番組審議会を閉会する。

以上